

1. 略歴

- 1983年3月 東京大学文学部印度哲学印度文学専修課程卒業(学士)
1983年4月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学印度文学専攻修士課程入学
1986年3月 同大学院 (印度哲学印度文学専攻) 修士課程修了(修士)
1986年4月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学印度文学専攻博士課程進学
1990年3月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学印度文学専攻博士課程単位取得退学
1991年4月 日本学術振興会特別研究員 (平成5年3月迄)
1998年4月 愛知学院大学文学部日本文化学科 助教授 (平成16年1月迄)
1998年10月 博士 (文学) の学位取得
2004年1月 愛知学院大学文学部日本文化学科 教授
2010年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

仏教学、東アジアの仏教及び日本仏教に関する研究。

b 研究課題

東アジアにおける仏教の研究。特に日本仏教における修行、学問に関する研究を行っている。学問に関わるところでは、古代の論義に関する研究を南都に残された法会資料を用いながら考察を進めており、古代から中世に掛けて行われた仏教教理に関する論争に焦点を当てている。また修行道に関する研究は、東南アジアや東アジア世界に伝わる修行の実際に注意を払いながら、東アジア世界に残された文献資料を用いて、修行道の内容を明らかにすることを目指して研究を進めている。また、昨年度より台湾における人間仏教の研究も視野にいれている。

c 概要と自己評価

2014年4月から2016年3月までの間は、台湾の仏光大学との共同研究で、現代の台湾仏教とくに因順の人間仏教に関する論文を執筆することができた。また、日本中世の仏教においては、引き続き南都の仏教に対する禅宗の影響を探究したが、論文として纏めるところまでは至らなかった。また、今までの研究成果を広く一般に公開する意味を込めて、一般向けの概説書として、春秋社より『日本仏教史』を刊行した。本書は、行と学という二つの視点から日本の仏教を鳥瞰する、類書のないものであると自負している。また、本書の執筆中に、中世の仏教における無分別の理解という新たな視点を獲得することができたので、前向きに評価したい。しかしながら、他の仕事との時間的な配分に苦勞しており、なかなか改善が進んでいない。この点は反省させられる。さらに仕事分量の調節に留意する必要がある。なお、2014年度は初めての研究室主任として、他の研究に時間が割けなかったように思う。

d 主要業績

(1) 著書

単著、蓑輪顕量、『日本仏教史』、春秋社、2015.6

(2) 論文

蓑輪顕量、「寺僧と遁世門の活躍—戒律・禅・浄土の視点から」、『ザ・グレイトブッダ・シンポジウム論集』、第12号、71-86頁、2014.11

蓑輪顕量、「良忍の念仏—その念仏の名称と念仏偈を再考する」、『融通念仏宗における信仰と教義の邂逅』、59-74頁、2015.10

蓑輪顕量、「中世法相宗における理の理解」、三友健容博士古稀記念論文集『知恵のともしび アビダルマ仏教の展開』、273-288頁、2016.3

(3) 学会・シンポジウム

国際、The Current State of the Field and Problems to be Resolved in the Study of Japanese Buddhism, 東アジア仏教学四大会議、於韓国東国大学校 2014.5.9

国際、「日本における『法華経』の受容」第六回中日佛学会議「総合テーマ『法華経』と東アジア」、於中国紹興市新昌県大仏寺、2015.11.1

国際、“Manuscript copies of Japanese materials regarding doctrinal debates from the thirteenth century” Multidisciplinary Symposium at the University of California, Santa Barbara, November 15, 2015

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

立正大学文学部 非常勤講師

東洋大学文学部 非常勤講師(2014年3月まで)

東洋大学大学院 非常勤講師

特別講演、龍谷大学、「東大寺の論義」、2014.7

セミナー、川崎市市民講座、「仏教の伝播—日本の神々と仏教の遭遇・公式の伝来とその信仰受容の特徴」、2015.6

特別講義、「日本仏教」、韓国東国大学校、2015.6.4 及び 6.8

(2) 学会

国内、日本印度学仏教学会、理事、評議員、常務委員

国内、日本宗教学会、常務理事、評議員

国内、日本仏教総合研究学会、会長(2016.3月まで)

国内、東アジア仏教研究会、会長

国内、パーリ学仏教文化学会、理事

国内、KIERA-LP学会、会長(2015年10月～)

(3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

一般財団法人東京大学仏教青年会、理事